

校訓“学芸を修めて人類のために”を实践する学年横断型课外授業

Frontier Project Team (FPT) とは

FPTは“Think Globally, Act Locally”を合言葉に、グローバル分野とローカル分野の課題探究活動を行っています。何をどのように学びたいのか、どのような外部講師を招き何を学びたいのか、学んだことをどのように社会貢献したいかなど、自分たちで考えチームで行動していきます。

FPTの目標

- 教科横断的な視野を広げ、世界や地域の課題解決への意欲を高める **Challenge 挑戦**
- 自分の意見を持ち、それを他者に発信するためのスキルを身に付ける **Construct 構築**
- 一つの達成目標に向かって、仲間と議論し、役割を分担して実現していくチームワーク力と実践力身に付ける。 **Create 創造**



FPTの活動にあたって重視しているSDGs



紛争・テロ、環境破壊、児童労働・難民など、さまざまな問題の根底に「貧困問題」があります。私たち日本人の豊かな生活と、世界の貧困問題の関係性を学びます。



私たちが住むこの「まち」にも、さまざまな問題や課題があります。自分たちに身近な、でも今まで気づかなかった問題にも目を向け、自分たちにできることを考え行動します。



FPT活動では、地元保育園や小学校、福祉施設、NPO、企業、国際関連組織との絆や連携を重視した学外活動を積極的に行っています。フィールドワークも盛んです。

これまでの活動実績

- ・NPO issue+design による地域課題解決のためのソーシャルデザイン実践講座
- ・東京芸術大学、障がい者アート制作ワークショップ
- ・世界の壁画アーティスト、ミヤザキケンスケ氏とのアート制作
- ・中野区障がい者施設「メイプルガーデン」との交流活動
- ・NPO「みんなのダンスフィールド」ダンスワークショップ

2020年度の活動予定

- ・日本UNHCR協会や学生団体SOARから特別講師を招き、難民問題の現状と課題を学び、難民に服をとどける活動を行います。
- ・NGO ACEの特別授業で「児童労働」の現状と課題を学び、第6回大妻中野模擬国連大会で議論します。
- ・一般社団法人アルバ・エデュから講師を招き、学んだことを校外で伝えるための発表スキルを向上させます。

難民キャンプでは子ども服が不足しています

きれいにお洗濯した古着をおねがいします



“届けよう、服のチカラ”プロジェクト
今年も古着集めにご協力お願いします!

カラフルな模様の服が子ども達に人気です

下着や小物（帽子や手袋）は回収対象外です

校内で子ども服の古着を集めます

集めた古着を仕分け、服のチカラ事務局に送ります

事務局から、難民キャンプに古着が届けられます





難民キャンプの子ども達に
大妻中野から
服のチカラを届けよう

